

ヴェニタ・カデュヤ(ヴェー)

ゾディアック放送局 (ZBS)

マラウイ・リロングウェ市

民族 / 部族: マラウイ
母語: チチェワ語
宗教: キリスト教
職業: ラジオプレゼンター
/ プロデューサー



仕事について：

「アジア学院で学んだことで、私は地域にある資源を活用し、コミュニティの人々に教える活動始める勇氣を得ました。また、謙虚になり、自発的に努力することを学んだのです。」

ヴェニタ・カデュヤはメディアやコミュニティ活動の経歴を持ち、情報を行動につなげる橋渡しをするユニークな存在です。ラジオの司会者と番組プロデューサーとして、特に農業と地域開発の分野で視聴者を教育し、人々の権利と能力を高めるために、自分のプラットフォームを活用してきました。彼女は、農民の声を広く届け、持続可能な農法を促進し、女性を力づけることを目指したラジオ番組の開発において、重要な役割を果たしてきました。

ヴェーの最も誇り高い功績の一つには、少女たちに再利用可能な生理用ナプキンの作り方を教えるプログラムの企画があります。また、女性たちが市場の廃棄物から有機肥料を生産するプロジェクトを率先し、経済的機会を与えると同時に、環境の持続可能性を育んでいます。

彼女は仕事を通じて、マラウイの女性や農民たちの自立やレジリエンス、権利や能力を高めることを目指し、その育成に尽力しています。

アジア学院でヴェーは、サーバント・リーダーシップ、忍耐、協力して働くことの大切さについて学びました。今年度は研究科生として、新しい学生たちを指導・支援し、彼らがこの旅路を通して、安らぎと目的を見つかけられるようにしたいと考えています。

送り出し団体について：

ゾディアック放送局は、2005年にマラウイのリロングウェに設立されたメディア局です。農業や家畜、教育、健康と栄養、林業に焦点を当てたラジオ番組を放送しており、これらの番組は、さまざまな人々、特に農村地域に住む貧しい人々に向けて発信されています。ZBSでは、ヴェーは多才なプロデューサー兼司会者として、ラジオ番組を発展させ、支えています。

農村リーダーたちについてもっと知りたい方はこちら：

[今年度の学生 - アジア学院 https://ari.ac.jp/thisyearsparticipants/](https://ari.ac.jp/thisyearsparticipants/)